

予定価格の事後公表の試行の状況等について

工事の入札において、予定価格の事前公表と低価格競争との関連性について検証するため、平成 20 年 12 月から予定価格の事後公表を試行していますが、平成 21 年度及び平成 22 年度の試行状況を取りまとめましたので公表します。

この試行結果では、①平均落札率は、事後公表と事前公表は変わらないこと、②平均入札参加者数は、事後公表は事前公表より多く競争性が増していること、また、③工事成績は、事後公表と事前公表は変わらない、といった状況になっています。このことから、予定価格の事前公表は、必ずしも低価格競争を助長しているとは言えず、工事成績にも関連性がないといった結果となっています。

しかし、特に規模の大きな工事では、予定価格を事後公表にすることによって、最低制限価格に近い金額の入札が減り分散する傾向が見られました。このため、規模の大きな工事については、事後公表の場合、事業者の積算能力が反映され、過度な低価格競争を抑止する効果もあると考えられることから、事後公表の試行を継続していきます。

○予定価格の事後公表の試行状況

		21年度		22年度		21・22年度の合計	
		事後公表	事前公表	事後公表	事前公表	事後公表	事前公表
対象件数	発注件数	237件	2,914件	450件	2,441件	687件	5,355件
	不調等件数	22件	127件	16件	72件	38件	199件
	落札件数	215件	2,787件	434件	2,369件	649件	5,156件
平均落札率		84.53%	84.69%	84.01%	84.03%	84.18%	84.39%
平均入札参加者数		9.30者	8.20者	14.03者	11.26者	12.40者	9.60者
不調発生率		9.28%	4.36%	3.56%	2.95%	5.53%	3.72%
最低制限価格と同額の落札		0件	0件	0件	0件	0件	0件
くじによる落札		0件 (0%)	73件 (2.62%)	7件 (1.61%)	67件 (2.83%)	7件 (1.08%)	140件 (2.72%)
最低制限価格と同額でくじによる落札		0件	0件	0件	0件	0件	0件
最低制限価格への集中度 (±1%)	予定価格 1億円未満	19.54% (221件)	44.06% (2,696件)	30.17% (398件)	60.68% (2,264件)	26.40% (619件)	51.72% (4,960件)
	予定価格 1億円以上	15.75% (16件)	55.04% (218件)	26.97% (52件)	69.44% (177件)	24.33% (68件)	61.47% (395件)
工事成績平均点		79.09点	78.94点	79.16点	78.84点	79.14点	78.90点
低入札価格調査制度の対象件数 (低入札価格調査件数)		0件 (0件)	64件 (26件)	10件 (5件)	84件 (49件)	10件 (5件)	148件 (75件)

※20年度の事後公表の試行件数は8件